



リハビリの取り組み

今回はリハビリテーション（以下リハビリ）の様子を少しご紹介いたします。リハビリ室には理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）が在籍しており、利用者さんの心身機能の維持・向上と、自分らしい生活のサポートをさせていただいています。リハビリされる利用者さんをスタッフみんなで応援して、出来たときはみんな嬉しさを共有するような、アットホームなリハビリ室です。

昨年度に「スパイダー」というリハビリ機器を導入しました。ますます充実したリハビリがとどけられるよう、「同頑張っています！」（写真はPT室の様子です）

言語聴覚士 穂崎



スパイダー →



介護用入浴機器を寄贈いただきました

令和6年3月、宇野薫様からの寄付により、介護用入浴機器を購入させていただきました。専用ストレッチャーを連結して、寝たままの姿勢で入浴できるものです。利用者の皆さんの快適な入浴と職員の介護負担軽減になっています。ありがとうございます。

また、宇野様は利用者の江口さんとも以前交流があったとのことで、久しぶりの対面をされました。江口さんのタイプアートに刺激を受けて、これまでたくさんさんのイラストを描かれ、環境庁など行政機関にも多数採用されたそうです。今回、お互いの作品を交換したり、久しぶりの再会に江口さんも嬉しそうな様子でした。



江口さんが以前描いたタイプアート（自画像）



施設の改修工事のお知らせ

1・2病棟の改修工事が空調工事に続いて5月から始まっています。10月31日終了予定です。ご迷惑をお掛けしておりますが、よろしくお願ひします。

希望の家祭開催について

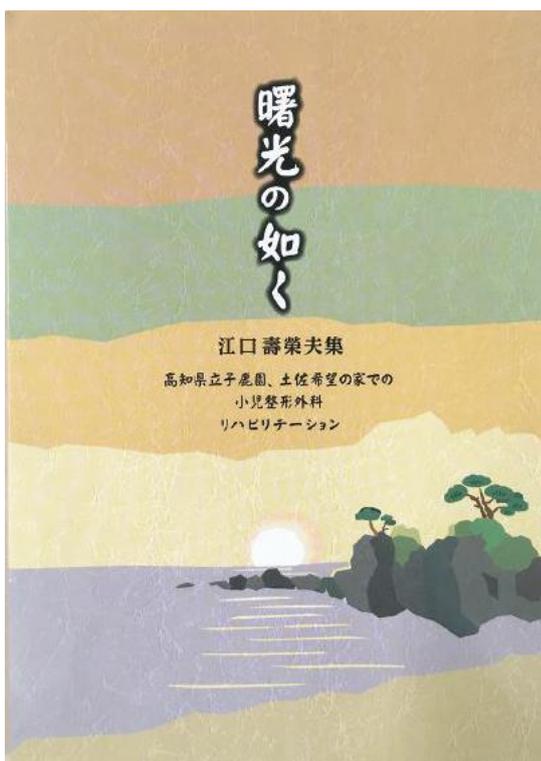
こんにちは。今年度の希望の家祭実行委員長になりました。1病棟生活支援員の松岡真歩です。11月3日（日）に5年ぶりに希望の家祭を開催することになりました。今まではコロナ禍で小規模開催でしたが、通常開催に近い開催ということで、利用者・保護者の皆さんと一緒に楽しい希望の家祭にしたいと考えています。

今回のテーマは「Smile・is・∞輝く未来は僕らのものー」です。内容としては、ステージではカラオケ大会・職員による出し物を考えています。詳しい内容が決まり次第、お知らせしたいと思います。皆さん宜しくお願ひします。久しぶりの開催で至らない部分もあるかと思いますが、皆さんと力を合わせて、楽しい家祭にしていきましょう。



『曙光の如く』

土佐希望の家の施設長も務められた故江口壽榮夫先生の文集「曙光の如く」をご家族より寄贈戴きました。先生は岡山大学医学部を卒業後、国立高知病院等への勤務やアメリカ留学を経て、1970年（昭和45）から27年間「子鹿園」の園長を務められました。2007年（平成19）からは医師不足の土佐希望の家に赴任して下さい、施設長など歴任し2020年（令和2）に退職されました。長年障害児者の診療に従事されたことにより、2019年（平成31）には医療功労賞を受賞されています。先生の歩んでこられた小児整形外科医、リハビリテーション医としての思いや功績と共に、ご家族との思い出にも満ちた素敵な文集でした。



皇太子御夫妻の子鹿園来園



子鹿園にて



奥様と娘さん（土佐希望の家にて）



奥様と共に

「高知産コーヒー」 医局長 博雪

2010年4月。私は高知に、「単身赴任」でやってきました。

今までは、旅行でも当地には来た事ありませんでした。

初めての高知生活。慰めに100均の雑貨屋で、テーブルの上にちょこんと載る位の、小さな、ちいさな鉢植えの「コーヒーの木」を求めました。

帰宅して、「ただいま！」と声を掛けます。

がらんとしたリビングのテーブルで、「コーヒーの木」は待っててくれます。

やがて、少し大きくなり、一回り大きめの植木鉢に植えかえました。

お日様いっぱい、ベランダへ出してみました。

4月から、11月中旬までは、ベランダで様子を見ていました。

11月に入り、寒くなる前に、リビングの窓際に「お引っ越し」。

数年後、随分大きくなり、4月には枝に真っ白な花をびっしりと咲かせました。

花は数日で終わり、やがて小さな緑色の果実を着けます。約半年で少しずつ大きくなり、11月には黄色から紅色、そして黒っぽく熟してきます。

2023年秋。樹高は1・2メートル位にまでなっています。自然に落ちた果実も発芽して2本になっていました。

余りに一杯果実を実らせてくれたので、ひょっとしたら「高知産のコーヒーが飲めるのでは？」と思いました。

インターネットで国産のコーヒーについて検索してみました。

沖縄や、鹿児島では国産のコーヒー豆はあるようです。

赤く熟した、我が家のベランダ産のコーヒー豆を、ひと粒ひとつぶ採集し、指先で潰し果皮を剥いで、ボウルに入れ、水にさらし、果肉のぬめりを除去し、ザルに入れて天日で干しました。

その後、知合いのコーヒー屋さんをお願いして、「焙煎（ロースト）」してもらいました。

専門の袋に詰め、ガスで封じてあります。これをまた別の知合いの方に頼んで、コーヒーミルに掛けて貰いました。僅か30gでしたが、純粹の「高知産コーヒー」の出来上がり。

5月の下旬、フィルターを通して頂きました。ちょっと薄めでしたが、パッとコーヒーの香りが広がりました。

「土佐希望の家」に来て、あっという間に14年の月日が経ちました。

「高知産のコーヒー」とても楽しいことでした。



わたしの仕事

相談支援課 吉良 美希

私は、相談支援課で主に施設内の相談業務を行っています。具体的には、入所や退所の支援、制度の利用や手続きの支援、外部（市町村や他事業所等）との連絡調整、短期入所に関わる業務、皆さんとの楽しい「おしゃべり」です。

そろそろ入職して1年が経ちますが、これまで違う分野で勤めていたこともあり、まだまだ慣れないこと、わからないこともあります。聞きなれない用語や制度については1つ1つ確認し、また皆さんに教えてもらいながら日々業務に取り組んでおります。何より、皆さんのおしゃべりからは、日頃の想いやこれまでの生活についても知ることができ、いろいろなことを教えていただく機会になっています。まだまだ頼りない部分はあると思いますが、制度の利用や手続きについてのご相談はもちろんのこと、ちょっとしたお困りごと、ご相談でも話を聞かせていただき、一緒に考えていければと思っています。



1 病棟

7月19日都築さん、高橋さんの2名でフジグラン野市へ外出してきました。車中で都築さんはトラックを見る度に指で差して喜ばれていました。店内に入ると高橋さんがいたずら心いっぱいでおどろかさない様子。昼食は店内のフードコートにて、都築さんはかつ丼とうどんセット。高橋さんは親子丼とたこ焼きにマヨネーズをたっぷりかけて頂きました。食後は、店内を散策しながら買い物を楽しみ、デザートを食べ大満足のお二人でした。次回の外出はどこに行くのかな。楽しみにしておきたいですね。

(1病棟：生活支援員 久保 貴嗣)

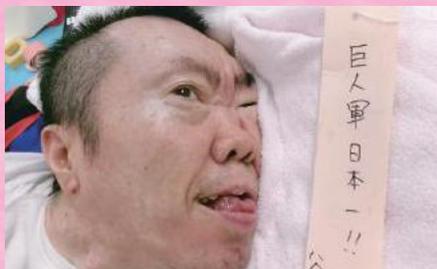


2 病棟

2病棟では、園に咲いているあじさいを見に行ったり、ジュースを買いに行ったり、また七夕の時期には七夕飾りに願い事を書いたり季節に合わせた活動を行っています。願い事を書いている皆さんの笑顔がとても印象的でした。

予定していたサマーフェスティバルは今回中止になりましたが、これからも取り組みを中心に利用者さんの笑顔を引き出していきたいと思えます。9月には施設全体の花火大会を計画していますので一緒に楽しみましょう。

(2病棟：看護助手 岩本法子)

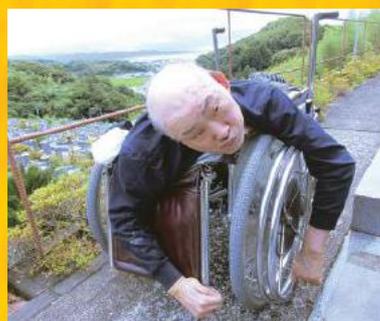


3病棟



3病棟では利用者さんが楽しめる取り組みを毎月色々行っています。今回園芸の取り組みではナス・ピーマン・ししとう・オクラ・スイカ・さつま芋を植えました。外出ではアジサイを見に行ったり、アイスクリームを食べたりと楽しまれていました。また、お誕生日会を開催し中城さん・川村さん・今田さんはとても喜ばれていました。7月はコロナウイルス感染症の為予定していた昼食外出やクッキング等が中止となりましたが、再開を待っていた分楽しさ倍増だと思うので、期待して待っていますね。

(3病棟：生活支援員 竹田夏奈子)



通所

通所では、7月8日から12日までの期間で、「夏祭りウィーク」を実施しました。法被を着て、頭には、鉢巻を巻いて、お面なども付けて参加しました。ヨーヨー釣り・くじ引き・ピンボール、それと初めての試みで、「お菓子すくい」をしました。ピニールプールに沢山のお菓子を入れて、お玉とスコップを使い、利用者さんと一緒にすきました。

意外に難しく、滑ったりしましたが、取れた時には大盛り上がりでした。少し早い夏を満喫することができました。また来年もしましょうね。

(通所事業所：生活支援員 小崎誠也)



きぼうのれん 地域食堂

5月26日、特別養護老人ホームたちばなの里にて開催された「地域食堂きぼうのれん」に参加してきました。会場では様々なブースが設けられており、防災、軽食、割り箸鉄砲作り、スライム作り、フードバンクによる無料配布など盛り沢山の内容でした。

私が担当したのはステージの司会進行で、恥ずかしながら桃太郎の衣装で行いました。

元通所運転手の大崎さんの結成している「風のいたずら」さんによるギターや弾き語り、元職員川島さんの腹話術や紙芝居、SDGsや防災に関する〇×クイズ、キッズダンスなど大いに盛り上がりました。小さいお子さん達の楽しそうに笑っている姿がとても印象的でした。普段関わりのない地域住民の方達がつながり合える良いイベントだと思つので、また微力ながらお手伝いさせていたただきたいと思つます。ご協力して下さった皆様ありがとうございました。

(今吉)



ご寄付 7月末まで

通所保護者会様
福本祥久様
小林豊様
田中成美様
上地真名子様
中澤寿子様
前田久様
柳原稔男様

職員一同お礼申し上げます。



お悔み申し上げます

- | | | |
|----------|-----------|-----|
| 西崎 佐知子 様 | 令和6年5月16日 | ご逝去 |
| 森本 英子 様 | 令和6年6月2日 | ご逝去 |
| 萩野 未来 様 | 令和6年7月13日 | ご逝去 |
| 藤岡 彰次 様 | 令和6年8月2日 | ご逝去 |

編集後記

この通信を読んでいる頃には、7月から続いた暑さも、感染症も徐々に落ち着き涼しく過ごしやすいようになってきているでしょうか。

11月には数年ぶりの希望の家祭が計画されています。健康でいること、笑顔でいることが、新しい物事や思いに出会えたり、会いたい人に出会えたりするのだから、パリオリンピックを見ながら思う今日この頃です。